

大豆技術情報 第1号

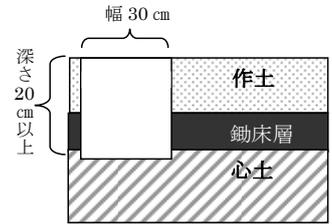
令和5年5月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

**適正な「排水対策」「土づくり」「播種作業」を行い、
目標苗立数と初期生育を確保しましょう！**

1 排水対策の徹底

<メリット>
・降雨後も早めに耕起・播種が可能
・砕土率、播種精度が向上

- ・用水路や水口からの漏水を防止しましょう。
- ・ほ場が乾いているときに、幅30cm、深さ20cm以上を目安に額縁排水溝を確実に設置し、深く掘り下げた排水口に連結しましょう。
- ・ほ場内に停滞水ができないよう、播種後は排水溝の点検と手直しを行う。



《額縁排水溝イメージ図》

2 土づくり

- ・耕起前に必ずマグフミン(粒)を100kg/10a施用し、土壌pH 6.0～6.5を確保しましょう。
- ・地力向上のため、堆肥等の有機物を積極的に施用しましょう。

《堆肥施用量の目安》

種類	10a 当たり施用量
牛ふん堆肥	1～2 t
発酵鶏ふん	100kg

3 病虫害防除

- ・種子伝染性病害やフタスジヒメハムシ等の加害を防ぐため、必ず種子消毒を行いましょう。

薬剤名	処理方法	対象病虫害等
クルーザーMAXX	種子1kg 当たり 8ml塗沫	紫斑病、茎疫病、タネバエ、ネキリムシ類、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、ハト(忌避)
キヒゲンR-2フロアブル (病虫害発生が少ないほ場)	種子1kg 当たり 20ml塗沫	紫斑病、タネバエ、ハト(忌避)

4 播種作業

- ・ほ場が乾いた条件で、耕起、砕土・整地、播種、作溝の一連の作業を1日で行い、砕土率60%以上を確保しましょう(右写真参照)。
- ・目標栽植本数を確保するよう事前に播種機の調整(ダイヤル調整ロール、スプロケット等)を行いましょう。
- ・作業速度は0.5m/秒程度の速さ(3連の播種機で30aほ場を70分で播種する速度)とし、確実に播種しましょう。
- ・播種深度は3cmを目安としましょう。
- ・除草剤は、播種後、土が乾かないうちに散布しましょう。



《砕土率60%以上の土壌》

《播種時期別の大豆播種量》

青立ちが懸念されるほ場は、6月上旬以降の播種を！

品種	播種時期	栽植本数 (本/10a)	播種量:注) (kg/10a)
えんれいの そら	5月26日～6月上旬	14,000～16,000	5.3～6.0
	6月中旬	16,000～18,000	6.0～6.8
シュウレイ	5月26日～6月上旬	12,000～15,000	4.9～6.1
	6月中旬	15,000～18,000	6.1～7.4
オオツル	6月上旬	10,000～12,000	4.2～5.1
	6月中旬	12,000～14,000	5.1～5.9

注) 大粒の百粒重:「えんれいのそら」34.0g、「シュウレイ」36.9g、「オオツル」38.1g、苗立率90%の場合

《基肥量の目安》

青立ちのリスクが高まることから、過剰施肥は避けましょう！

肥料名 (N:P:K)	土壌条件	施用量 (kg/10a)	
		単作	麦跡
BB 基肥 084 (10:18:24)	砂壤土・壤土	30～40	50～60
	埴壤土	20～30	40～50

《除草剤》(下表のいずれか)

除草剤名	散布量(/10a)
トリアゾロピリジン系粒剤 2.5	4～6 kg
ラクサ-粒剤*	4～8 kg
プロール®ラズ乳剤*	400～600ml

※散布直後の多量の降雨により薬害を生じる恐れがあるので、天候を見極めて散布しましょう。

- 『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』 春の農作業安全運動実施中！(3/1～5/31)
- 『守ろう農薬ラベル 確かめよう周囲の状況』 富山県農薬危害防止運動実施中！(4/13～9/14)